

●座長：妹尾 正（獨協医大）



かわさき かずお
川崎 和男

(大阪大／名古屋市大)

手術とコンシリエンスデザイン

演者略歴

デザインディレクター・博士(医学)

大阪大学・名誉教授
名古屋市立大学・名誉教授

多摩美術大学・客員教授
金沢工業大学・客員教授

大阪大学大学院・工学研究科にて「危機解決産業創成デザイン重要拠点」として、「危機解決工学プロダクトデザイン寄附講座」特任教授・プロジェクトリーダーを務めている。

1949年福井市生まれ、魚座・B型・左右利き
インダストリアルデザイン・プロダクトデザインから、デザインディレクターとして、伝統工芸品、メガネ、コンピューター、ロボット、原子力、人工臓器、宇宙空間までデザイン対象として、トポロジーを空間論に持ち込んだ「ことばとかたちの相対論」をデザイン実務としている。

グッドデザイン賞審査委員長など行政機関での委員を歴任。国内外での受賞歴多数。また、ニューヨーク近代美術館など海外の主要美術館に永久収蔵、永久展示多数。『Newsweek日本版』の「世界が尊敬する日本人100人」に2度選ばれる。現在デザインによる世界平和構築をめざして「Peace-Keeping Design(PKD)」というプロジェクトを提唱。

「毎日デザイン賞」調査委員
「シップ・オブ・ザ・イヤー」選考委員会委員
「日本文具大賞」審査委員長
「DESIGN TOKYO 東京デザイン製品展」審査委員長
「危機管理デザイン賞」総合審査委員長

1996年から名古屋市立大学から2006年に大阪大学大学院に移籍し、2013年には名古屋市立大・大阪大学の国公立2つの大学の名誉教授。

(妹尾木大) 伯太孝 木大：具典 ●

医工連携ブームではモノは出来ないことを主張してきました。一辺から 上反 深層 髪角 髪移 植
必ずデザインが医工には必要であると強調しましたが、デザイン界も勘違いがあって、医学にも工学にも、
この研究と称しているだめな研究を見始めています。
何がだめかといえば、論文になったとか特許をとったとか、ではなく、肝心なのは患者へのデザイン支援
でしかないことです。
医師もエンジニアもそれなりにデザイン理解が出来る優秀さが基本です。
そうして気づいたのは、看護学・保健学・基礎工学などを結合・融合・統合が基本でなければいけないと
いうことです。
学際化のための結合？学際融合？学際統一ではなく統合です。
この講演とともに、研究室で仕分けされた完成目前デザインも紹介いたします。
これからのデザインは「コンシリエンスデザイン」をまず、医工だけではなく、もっともっと学際化を提案
いたします。